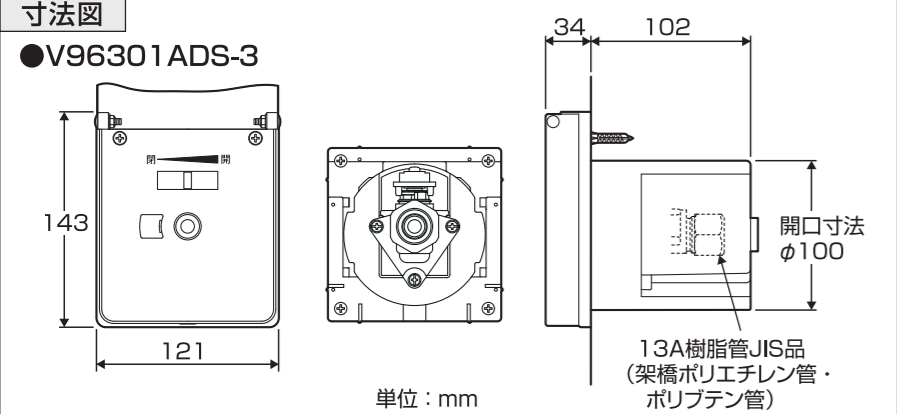
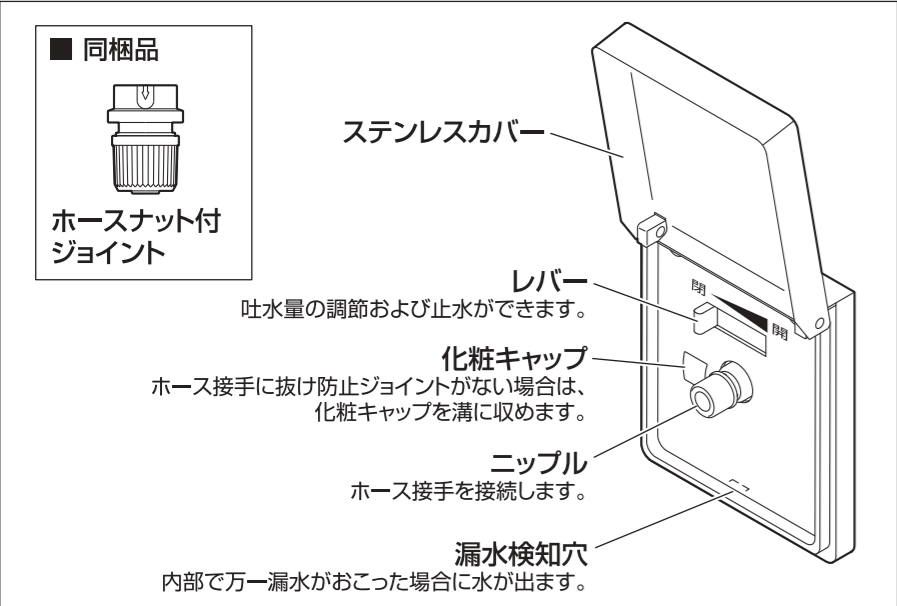


水道用コンセント シンプルット

..... V96301ADS-3

施工説明書 施工の前にこの説明書を必ずお読みのうえ、正しく施工してください。

本製品について 各部の名称・寸法図



施工について 施工に関する安全上のご注意

- ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果(傷害・物損)に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 施工完了後、試験運転を行い異常がない事を確認すると共に、工事店様は説明書に沿ってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。

用語および記号の説明

注意「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害が発生する危険な状態が生じる事が想定されます。」

⚠「注意しなさい!」(上記の「注意」と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項を守ってください。)

⊘「してはいけません!」(一般的な禁止記号です。)

🔧「分解してはいけません!」

🚫「バスルームやシャワールームなどの水場で使用してはいけません!」

📢「指示通りにしなさい!」(一般的な行動指示記号です。)

注意

⊘ **壁と製品の間は必ずコーキングしてください。**
雨水などが壁の内側に浸入する財産損害発生のおそれがあります。

⚠ **漏水検知穴にコーキング剤が付着しないようにしてください。**
万が一漏水がおこったときに水が壁の内側に浸入する財産損害発生のおそれがあります。

⊘ **電気のコンセントの近くに取付けないでください。**
水道用コンセントからの水による、漏電のおそれがあります。

⊘ **浴室には設置しないでください。**
故障や漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

注意

⊘ **修理技術者以外の方は、水栓本体内部を分解しないでください。**
故障や水漏れの原因になります。

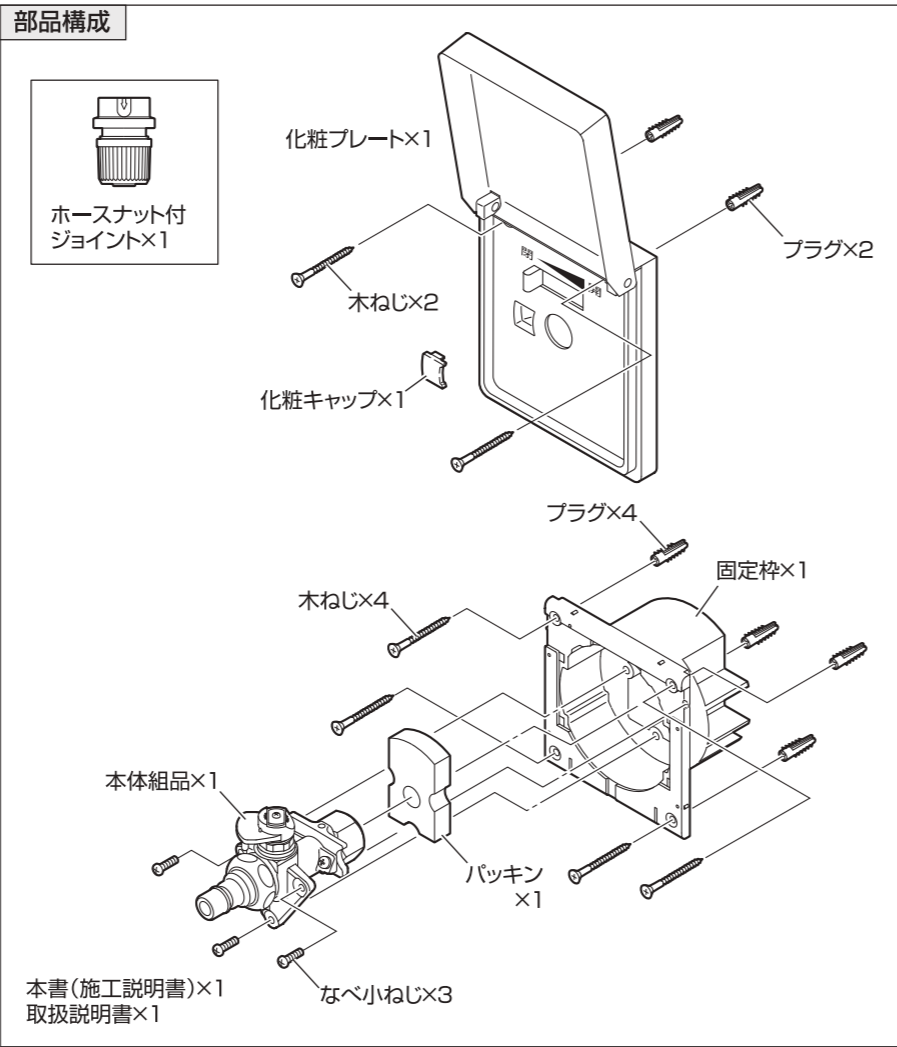
⊘ **製品に強い力や衝撃を与えないでください。**
故障や水漏れの原因になります。

⊘ **JIS品以外の樹脂管は取付けないでください。**
漏水の原因となります。
取付可能な樹脂管は次のJISに当てはまる、呼び径13Aのもです。
なお、設置条件(給水温度・圧力など)については、各JISに準拠してください。
・JIS K 6769-1999 架橋ポリエチレン管M種(E種電気融着式は不可)
・JIS K 6787-1997 水道用架橋ポリエチレン管M種(E種電気融着式は不可)
・JIS K 6778-1999 ポリブテン管
・JIS K 6792-1997 水道用ポリブテン管

⊘ **凍結が予想される地域には使用しないでください。**
凍結破損で漏水し、家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

⚠ **安全を確保するための逆止弁は定期的な交換が必要である事をお客様にお伝えください。**
万が一、逆止弁が正常に機能しない場合、状況によっては水栓から一度吐出した水が逆流するおそれがあります。また、水漏れなど予想しない事故の原因になります。参照：「定期的な部品交換」

施工について 梱包明細



施工について 適切な使用条件

〔水圧について〕

給水圧力	最低必要水圧(流動時)	最高使用水圧(静止時)
	0.05MPa	0.75MPa

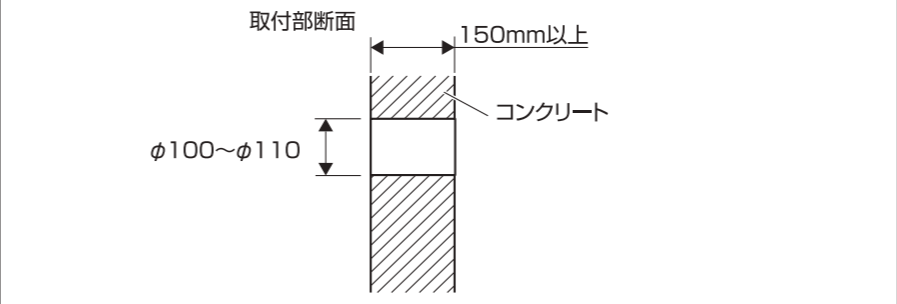
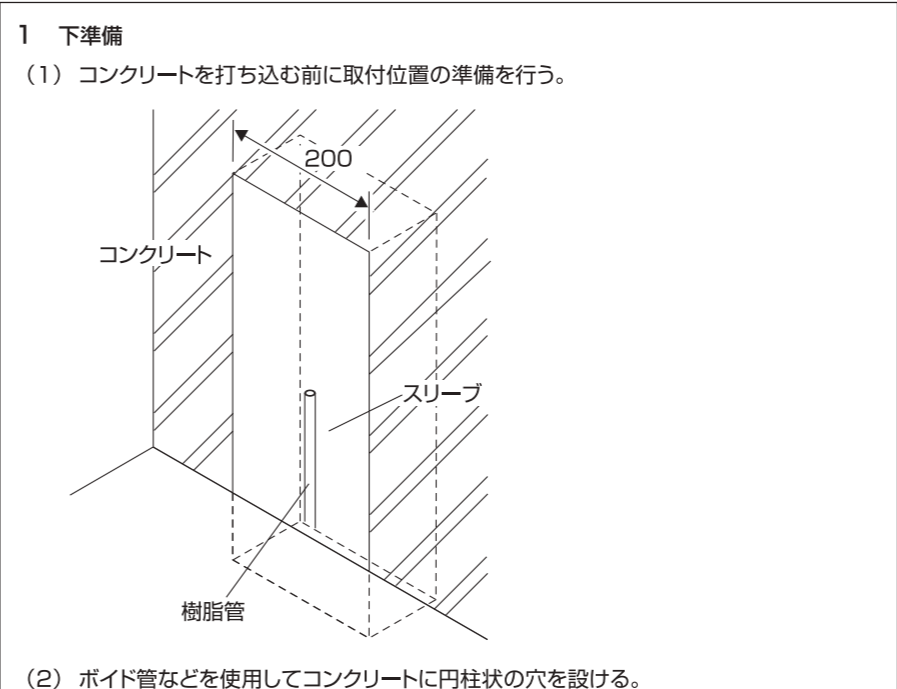
●給水圧力が0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁などで0.2~0.3MPa程度に減圧してください。

〔水質・用途について〕

使用可能水質	水道水及び飲用可能な井戸水
用途	一般住宅用(屋内用)

施工について 施工手順

- 水道工事と壁面取付工事は相互の工程を十分打合わせてから行ってください。
- 施工・作動点検のため、ホース接手を留意してください。

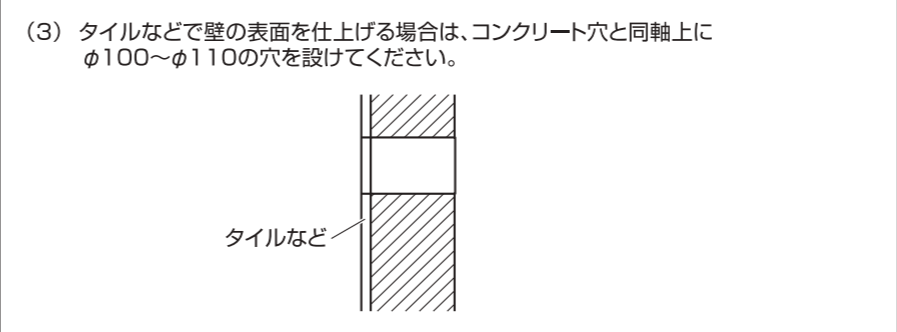


〔ボイド管施工例〕

- 取付位置にボイド管を固定する。

注意
コンクリートが入りこまないように注意してください。

- コンクリートを打ち込んだ後、ボイド管を抜く。

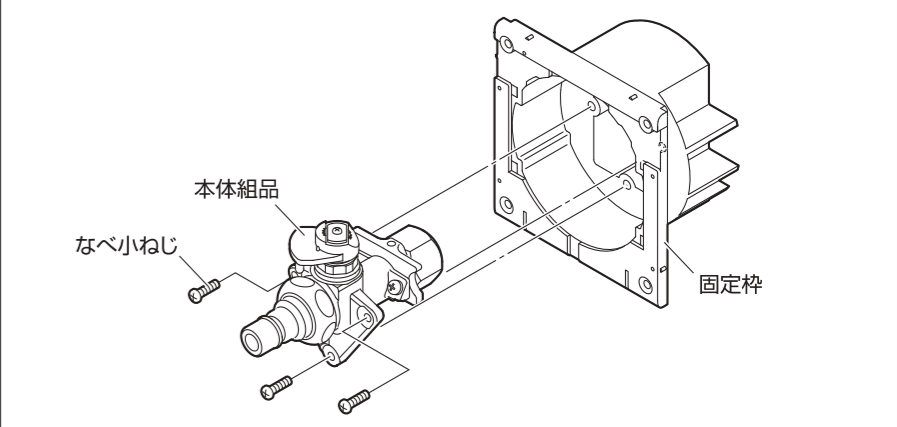


- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも読める所に必ず保管してください。
- 施工後、工事店様は本書をお客様へお渡しください。

SANEI 株式会社
 本社 〒537-0023 大阪市東成区玉津1丁目12番29号
 カスタマーセンター ☎ 0120-06-9721 (通話料無料)
 受付時間 9:00~17:30 (土日祝除く)

2 樹脂管と固定枠の固定

- (1) 固定枠から本体組品をははずす。



- (2) 固定枠取付位置にプラグを取付ける。

取付位置に深さ30~35mmの穴を開け、穴のゴミを取除く。

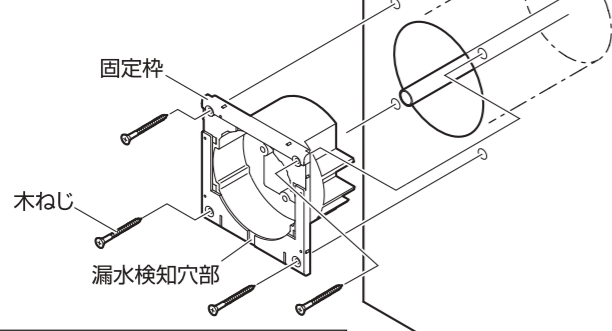
取付位置

プラグ 8×25

- (3) 樹脂管を引き出す。

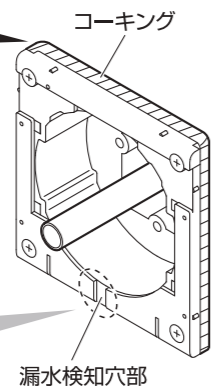
注意
樹脂管が傷付かないようにゆっくり通してください。

(4) 固定枠を樹脂管を通して壁面に固定し、壁面と固定枠の間にすき間ができないように、コーキング剤を塗付する。



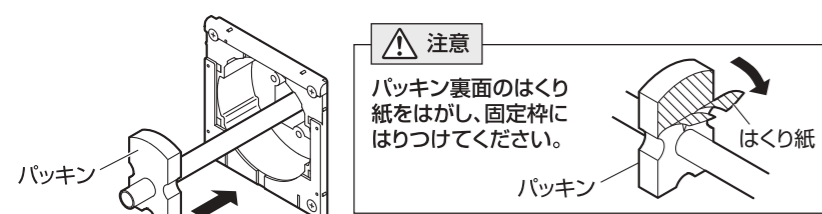
注意

- コーキングが、固定枠外周からはみ出さないようご注意ください。(右図参照)
コーキングがはみ出すと、「5 化粧プレートの取付け」の際に化粧プレートが取付けられない場合があります。
- コーキング塗付が不備の場合、壁内部に水が浸入し財産損害発生のおそれがあります。
塗付は確実に行ってください。
- 漏水検知穴部にコーキング剤が付着しないようにしてください。
万が一漏水がおこったときに水が壁の内側に浸入する財産損害発生のおそれがあります。



漏水検知穴部にコーキング剤が付着しないようにしてください。

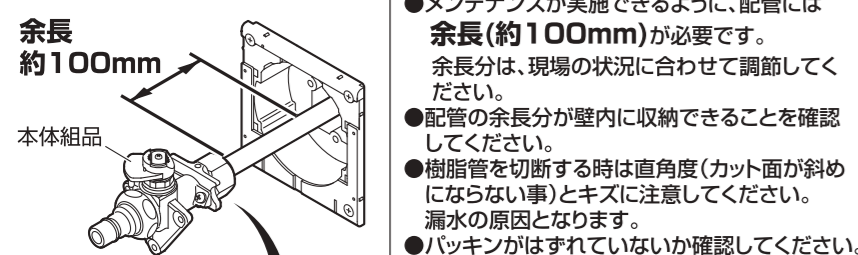
(5) パッキンを樹脂管を通して固定枠の底まで押し込む。



注意

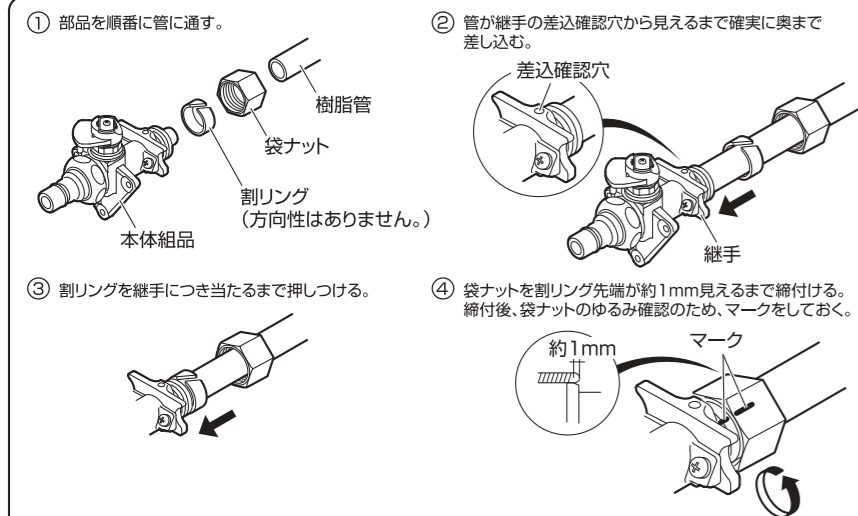
パッキン裏面のはくり紙をはかし、固定枠にはりつけてください。

(6) 本体組品の継手を樹脂管に固定する。



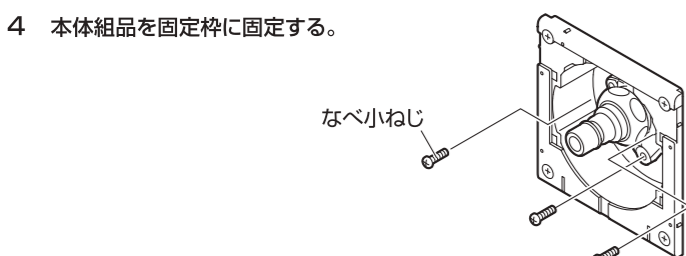
注意

- メンテナンスが実施できるように、配管には**余長(約100mm)**が必要です。
余長分は、現場の状況に合わせて調節してください。
- 配管の余長分が壁内に収納できることを確認してください。
- 樹脂管を切断する時は直角度(カット面が斜めにならない事)とキズに注意してください。
漏水の原因となります。
- パッキンがはずれていないか確認してください。



- メンテナンスが容易な場所に取付けてください。
- 作業中は手袋などで手の保護をしてください。
- 樹脂管の差し込み不足と袋ナットの締め忘れは、漏水の原因となります。
- 継手の保管場所は屋内とし、直射日光や異物・雨滴の付着をさけてください。
多量の灯油やガソリンなど有機剤を取り扱う場所での保管はさけてください。
- 袋ナットを締付ける際は、ニップル部を手や工具で掴まないでください。ニップル部を挿入して締付けると、ニップル部の袋ナットが緩み、漏水の原因となります。
- いったん使用した割リングは再使用しないでください。
- 傷ついたり折れ曲がった管は使用しないでください。

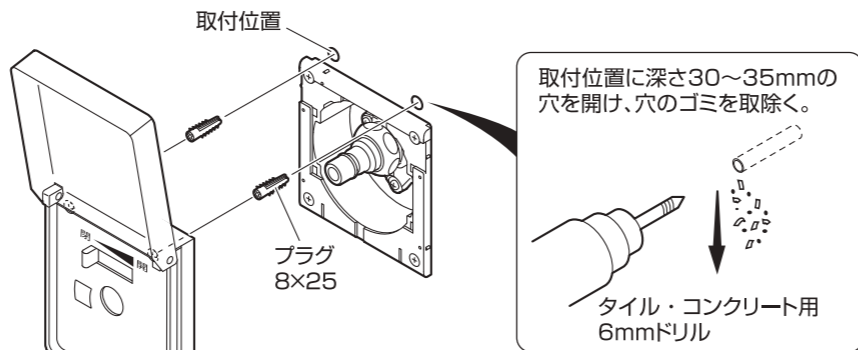
3 通水点検
止水栓を開いて通水し、各接合部の水もれ点検をする。



4 本体組品を固定枠に固定する。

5 化粧プレートの取付け

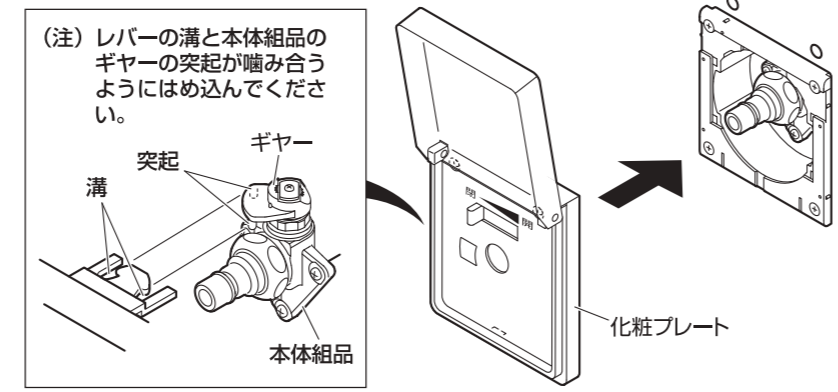
(1) 化粧プレート取付位置にプラグを取付ける。



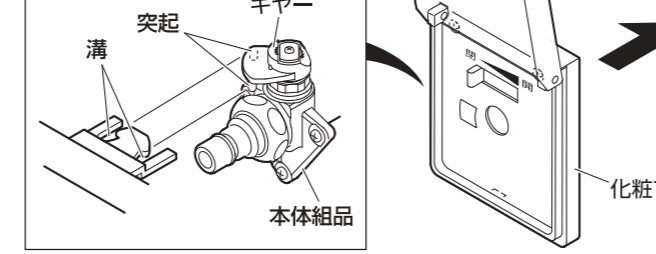
取付位置に深さ30~35mmの穴を開け、穴のゴミを去除く。

タイル・コンクリート用
6mmドリル

(2) 化粧プレートと固定枠が合うように、カチッと音がするまではめ込む。



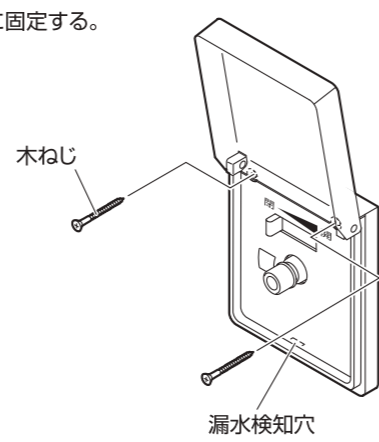
(注) レバーの溝と本体組品のギヤの突起が噛み合うようにはめ込んでください。



(注) レバーが左端の位置まで動作しなくても、止水すれば正常です。

5mm以内のアキ

(3) 化粧プレートを壁面に固定する。

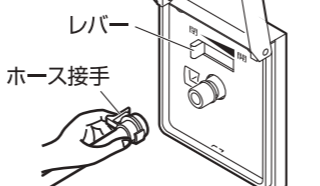


6 施工・作動点検

取付完了後ホース接手を差し込み、止水栓を開け通水し、作動および各接合部の水もれ点検をする。点検で不具合が発生した場合は次の表に従って処置する。

- ①施工確認
 - 化粧プレートが確実ににはまっている事。
- ②ホースの着脱確認
 - ホースが確実に着脱できる事。
 - ホース接手を引張っても抜けない事。

注意
ホースをはずす際は、ホース内の水が出ますので注意してください。



	点検不具合	処置	原因	処置
①施工確認	化粧プレートがきれいににはまらない。	a	固定枠のまわりにタイルなどを張っているため、化粧プレートが浮いている。	固定枠と化粧プレートの間が厚くならないようにしてください。「器具の取付け」参照
	ホース接手がはまらない。	b	ホース接手が適合しない。	「分解と点検」参照

こんなときは 分解と点検

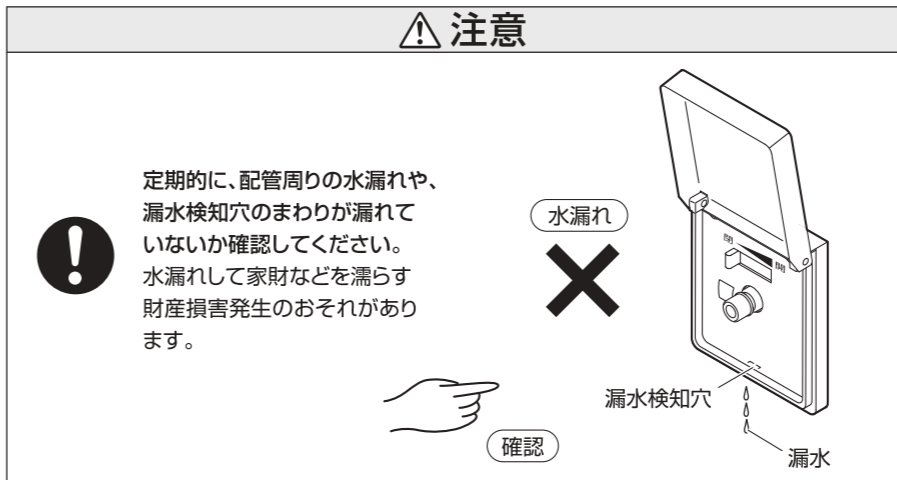
取付後の故障や、保守点検の時は下の表に従って点検してください。

	原因	処置	処置
水が出ない	レバーが開栓していない。	A	レバーが開閉しているか確かめる。
	セラミック上部のゴミかみ。	B	
	通水していない。(元栓が開まっている。)		
止まらぬ	レバーが開栓していない。	A	セラミック上部を開閉しながら、シート部を掃除する。直らない場合は部品を交換する。
	セラミック上部のゴミかみ。	B	
流量が少ない	レバーが開栓していない。	A	参照：取扱説明書「こんなときは」「セラミック上部の取りはずし・取付け方法」
	セラミック上部のゴミつまり。	B	
	逆止弁コアのゴミつまり。	C	
ニップル部から水が漏れる	ホース接手のパッキン部の損傷、ゴミかみ。	D	逆止弁コアのシート部を掃除する。
	ホース接手がはまらない		
ホース接手がはまらない	ホース接手が適合しない。(SAN-EIのホース接手を別途お求めください。)	D	ホース接手のパッキン部のゴミかみがあれば取除き、傷があれば部品を交換する。

以上の点検を実施されても、不具合がなくなる場合は施工上の不具合が考えられます。施工手順「6 施工・作動点検」を参照してください。

日頃のお手入れ 定期的な点検

漏水を壁表側に出すための漏水検知穴を設けています。万が一の漏水に備えて次の点検をお客様にお伝えください。

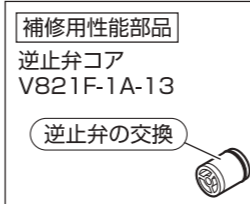


日頃のお手入れ 定期的な部品交換

安全・快適にお使いいただくために、定期的な部品交換をお客様にお伝えください。

逆止弁の交換時期の目安：3~5年

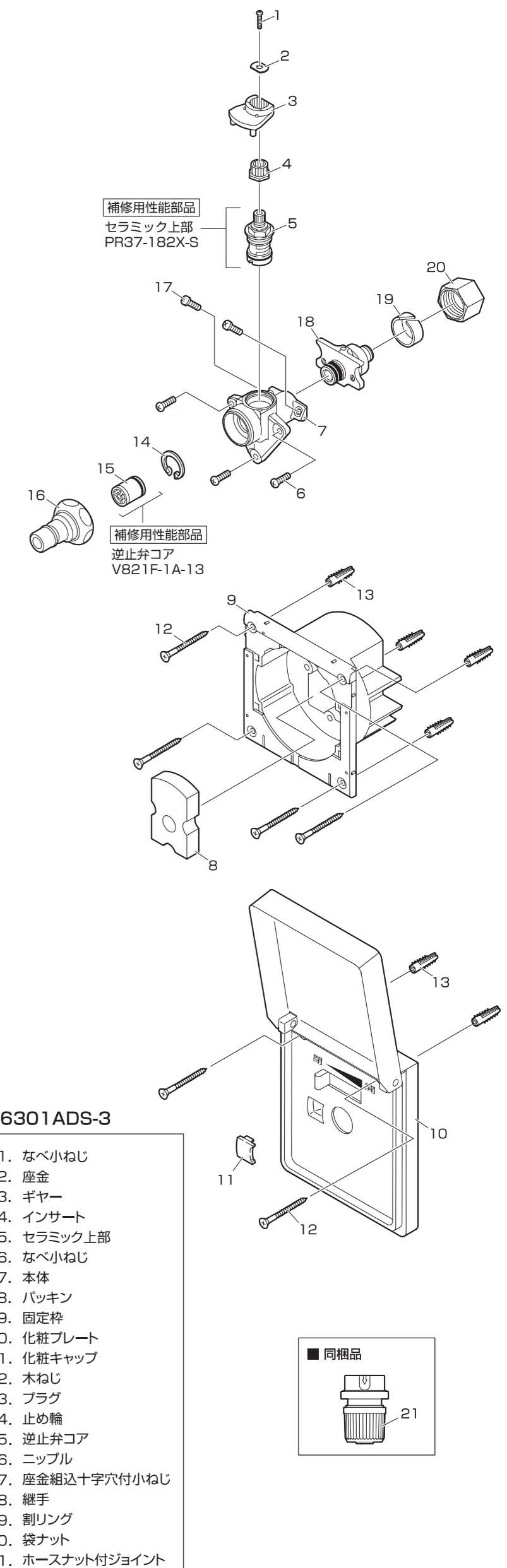
万が一、逆止弁が正常に機能しない場合、状況によっては水栓から一度吐出した水が逆流するおそれがあります。



※交換時期は、使用環境などにより異なります。
※逆止弁や部品交換を依頼される方は取扱説明書の「アフターサービス」を参照してください。

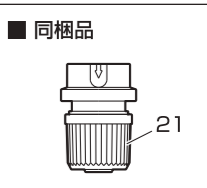
こんなときは 本製品の構造

本製品の構造を表したイラストです。構造をご理解いただくのにご使用ください。



V96301 ADS-3

1. なべ小ねじ
2. 座金
3. ギヤ
4. インサート
5. セラミック上部
6. なべ小ねじ
7. 本体
8. パッキン
9. 固定枠
10. 化粧プレート
11. 化粧キャップ
12. 木ねじ
13. プラグ
14. 止め輪
15. 逆止弁コア
16. ニップル
17. 座金組込十字穴付小ねじ
18. 継手
19. 割リング
20. 袋ナット
21. ホースナット付ジョイント



水道用コンセント シンプルット

V96301ADS-3

取扱説明書

ご使用前にこの説明書を必ずお読みのうえ、正しくご使用ください。

お客様へ

お読みになった後は、お使いになる方がいつでも読める所に必ず保管してください。

工事店様へ

施工後、この説明書をお客様へお渡しください。また、定期的な交換が必要な部品があることをお客様にお伝えください。

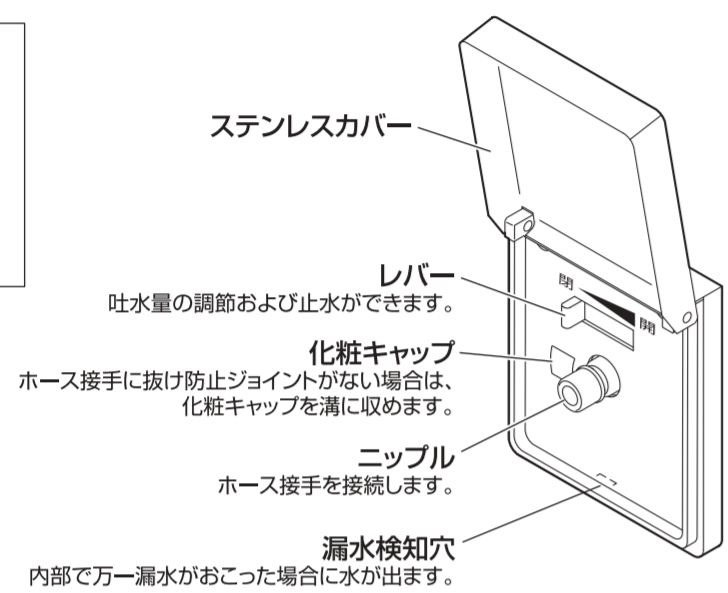
本製品について 各部の名称

- 壁面に埋め込むことで、突出感がなくスッキリ。水栓本体の機能はそのままです。
- ワンタッチ接続で簡単着脱。
- バルブ部にセラミック上部を使用しているため耐久性にすぐれています。

同梱品



ホースナット付ジョイント



ご使用について ご使用に関する安全上のご注意

- ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果(傷害・物損)に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 施工完了後、試験運転を行い異常がない事を確認すると共に、工事店様は説明書に沿ってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。

用語および記号の説明

- 警告** ……「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じる事が想定されます。」
- 注意** ……「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害が発生する危険な状態が生じる事が想定されます。」
- ⚠ ……「注意しなさい」(上記の「注意」と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項を守ってください。)
- ⊘ ……「してはいけません!」(一般的な禁止記号です。)
- ⊘ ……「分解してはいけません!」
- ⚠ ……「指示通りにしなさい!」(一般的な行動指示記号です。)

警告

⊘ 小さいお子様だけのご使用は、避けてください。けがをするおそれがあります。

注意

- ⚠ ステンレスカバーを使用する場合は十分注意してください。けがをするおそれがあります
- ⊘ 製品に強い力や衝撃を与えないでください。故障や漏水の原因になります。
- ⚠ ホース接続部より水漏れがないかご確認ください。水漏れが発生した場合には、再度取付けをやり直してください。水が吹出して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
- ⊘ ニップルに直接ホースを接続して使用しないでください。ホース接続部より漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

注意

- ⚠ 給水ホースをはずす際は、レバーを止水位置に合わせてからはずしてください。水が吹出して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
- ⊘ 製品に水や洗剤、汚水をかけないでください。水などが浸入して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
- ⊘ 分解は、保守・点検の決められた項目以外はしないでください。器具が破損し、やけど・けがをしたり、水漏れで家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
- ⚠ 凍結が予想される場所でご使用になる場合は、凍結予防を実施してください。凍結破損で水漏れし、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
- ⚠ 安全を確保するための逆止弁は定期的な交換をお願いします。万が一、逆止弁が正常に機能しない場合、状況によっては水栓から一度吐水した水が逆流するおそれがあります。また、水漏れなど予想しない事故の原因になります。参照：「定期的な部品交換」

⚠ 長期間使用しない時は、配管中の元栓を閉めてください。水漏れなどの事故の原因になります。

⚠ レバーは、ゆっくり操作してください。レバーを急に閉めると、配管に衝撃が加わり、水漏れで家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

⚠ レバーは定期的に動かしてください。その際必ず給水ホースを接続してください。レバーを長時間動かさずに使用すると水あかなどが付着し、レバーが固着して無理に動かそうとすると破損の原因になります。

⚠ 吐水口先端に重いものを下げたり、力をかけて回したりしないでください。摩耗、変形などでパッキンの寿命が短くなり、吐水時に吐水口部から微量の水がにじみ出るおそれがあります。

⊘ 解氷機やアースを水栓に通電しないでください。水栓が発熱で破損し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

⚠ 使用しない時は、レバーを閉めてください。給水ホースがはずれて漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

注意

- ⚠ ホース接手を本体のニップルに確実に差し込んでください。確実に差し込まないと水漏れして家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
- ⚠ ホース接手をはずす際は、給水ホース内の水が出ますので注意してください。特にホース内に圧力がかかっている場合は水が吹出すおそれがあります。洗濯機などに取付けている場合は、一旦、作動(給水スタート)して、ホース内の圧力を逃がしてから、ホースをはずしてください。
- ⚠ 自動洗濯機給水ホース以外でご使用の場合、常にホースに圧力がかかる機器には使用しないでください。ホースが抜けた場合に、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。誤ってレバーノズルなどを取付けた場合は、ハンドルを閉め、一旦、レバーノズルを作動(散水スタート)して、ホース内の圧力を逃がしてから、はずしてください。

⚠ 定期的に、配管周りの水漏れや、漏水検知穴のまわりが漏れていないか確認してください。水漏れすると家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

⊘ 次のものは使用しないでください。変色や傷みのおそれがあります。

- 酸性・アルカリ性および塩素系の洗剤類 ※特に酸性洗剤はメッキを侵します。
- ベンジン・シンナー・ラッカー・アルコールなどの溶剤や油類
- クレンザーなどの粒子の粗い洗剤
- ナイロンたわし・メラミンフォームなど

⚠ 洗剤・薬品が本体に付着した場合は、すぐにきれいに拭き取ってください。本体の割れや変色変質の原因となります。

ご使用について ホース接手の適合について

- ① 散水用としてご使用の場合
同梱のPT17-4Fをご使用ください。ニップルに直接ホースを接続して使用しないでください。
ホースナット付ジョイント SAN-EI品番：PT17-4F
お使いの給水ホース
適合ホース：
内径φ12~15mm
外径φ18~20mm
- ② 自動洗濯機でご使用の場合
日本電機工業会規格 (JEM1206) に適合するホース接手を御使用ください。弊社製品では、下記の品番が該当します。
自動洗濯機給水ホース SAN-EI品番：PT17-1-0.5(長さ0.5M) PT17-1-1(長さ1M) PT17-1-1.5(長さ1.5M) PT17-1-2(長さ2M) PT17-1-3(長さ3M) PT17-1-5(長さ5M)

⚠ 自動洗濯機給水ホース以外でご使用の場合、常にホースに圧力がかかる機器には使用しないでください。ホースが抜けた場合に家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

ご使用について 使用方法

- ホースの接続**
- ① ホース接手を本体のニップルへカチッと音がするまで差し込む。
●ホース接手に抜け防止ジョイントがある場合は、化粧キャップを取りはずす。
 - ② 接続後、ホースを引張って抜けない事を確認する。
レバーをスライドして、吐水、止水します。
- ホースの離脱**
- ① レバーを止水位置に合わせる。
 - ② ホース接手をはずす。
- ⚠ 注意
レバーは全開でご使用ください。
- (注) レバーが左端の位置まで作動しなくても、止水すれば正常です。
5mm以内のアキ

⚠ 注意
ホースをはずす際は、ホース内の水が出ますので、注意してください。

⚠ 注意
使用後は必ずホース接手をはずし、カバーを閉めてください。

ご使用について 凍結予防

- 凍結のおそれがある場合は、次の処置によって凍結を予防できる場合があります。
- 配管部などに保温材を巻いてください。
 - 凍結の予想される日には、カバーを閉めてください。
 - ※凍結による破損は保証期間内でも有料修理となります。
- カバーを閉めるなど
- 裏面へつづく

お手入れ 日頃のお手入れ

製品についた汚れを放置しておくと、汚れが落ちにくくなる場合があります。快適にお使いいただくために、日頃のお手入れをおすすめします。

- 柔らかな布で水拭きして、よくしぼった布で汚れを拭き取ってください。
- 汚れが目立つときは、中性洗剤を柔らかな布にふくませて拭き取った後水拭きして、よくしぼった布で汚れを拭き取ってください。

注意

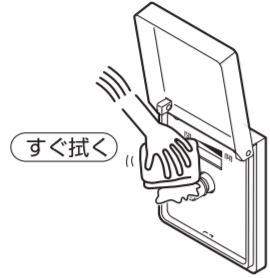
次のものは使用しないでください。変色や傷みのおそれがあります。

- 酸性・アルカリ性および塩素系の洗剤類
- ※特に酸性洗剤はメッキを侵します。
- ベンジン・シンナー・ラッカー・アルコールなどの溶剤や油類
- クレンザーなどの粒子の粗い洗剤
- ナイロンたわし・メラミンフォームなど



洗剤・薬品が本体に付着した場合は、すぐにきれいに拭き取ってください。本体の割れや変色変質の原因となります。

軽く拭く

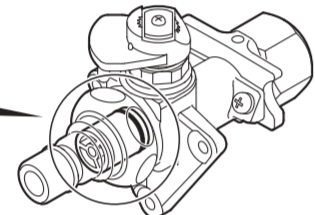


お手入れ 定期的な部品交換

安全・快適にお使いいただくために、定期的な部品交換をおすすめします。

逆止弁の交換時期の目安：3～5年

万が一、逆止弁が正常に機能しない場合、状況によっては水栓から一度吐水した水が逆流するおそれがあります。

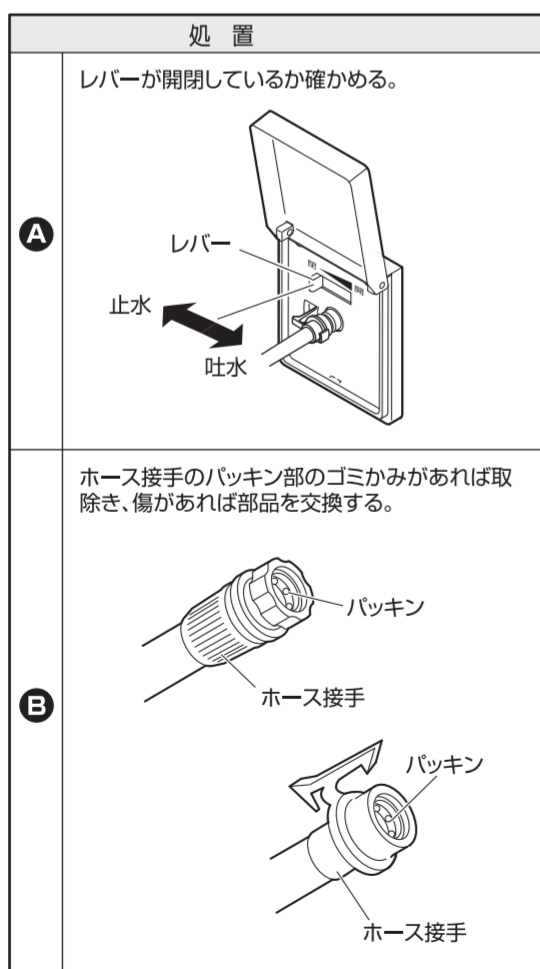


※交換時期は、使用環境などにより異なります。
※逆止弁や部品交換を依頼される方は取扱説明書の「アフターサービス」を参照してください。

こんなときは 分解と点検

取付後の故障や、保守点検の時は次の表に従って点検してください。

	原因	処置
水が出ない	レバーが開栓していない。	A
	通水していない。 (元栓が閉まっている。)	
水が止まらない	レバーが開栓していない。	A
流量が少ない	レバーが開栓していない。	A
ニッフル部から水が漏れる	ホース接手のパッキン部の損傷、ゴミかみ。	B
ホース接手がはまらない	ホース接手が適合しない。 (SAN-EIのホース接手を別途お求めください。)	



漏水した場合の処置

漏水した場合は、配管中の元栓を閉めてください。

元栓の開め方

元栓ボックス(メーターボックス)のふたを開け、元栓を右にまわして閉めます。
※元栓を閉める前に給湯機や洗濯機などの使用は止めてください。
※閉栓後は近くの水栓などで給水が止まっていることを確認してください。
※一部の地域では左まわしの場合があります。
※元栓がどこにあるかわからない場合は、水道局にお問い合わせください。

■戸建て住宅などの元栓ボックス：

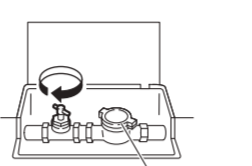
主に玄関やガレージ付近の地面にあります。
古い戸建て住宅の場合は道路に円形のボックスがあったりします。

●キー式



止水栓キー
SAN-EI品番：
PR30A(止水栓キー)

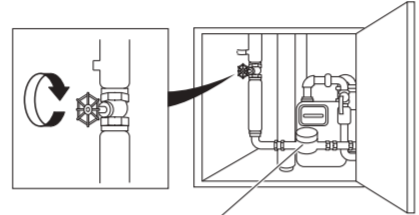
●ハンドル式



水道メーター
(量水器)

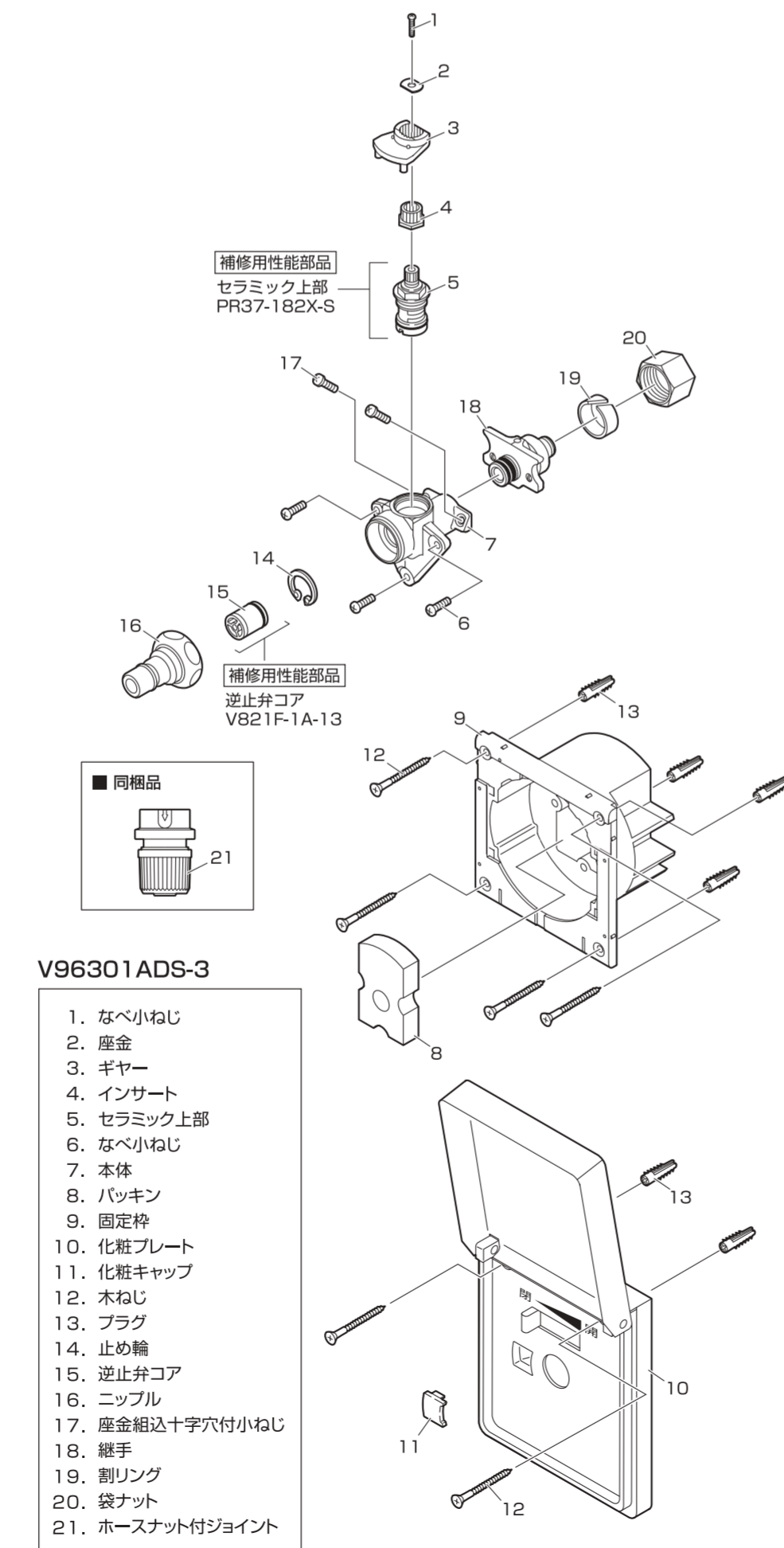
■マンションなどの中高層住宅の元栓ボックス：

主に玄関を出た階段の踊り場に鉄の扉があり、電気やガスのメーターと共に水道メーターと元栓があります。お隣と共通のボックス内で元栓の場所がわからない場合は、水道料金の検針票などでご自分の水道メーター番号を確認してください。



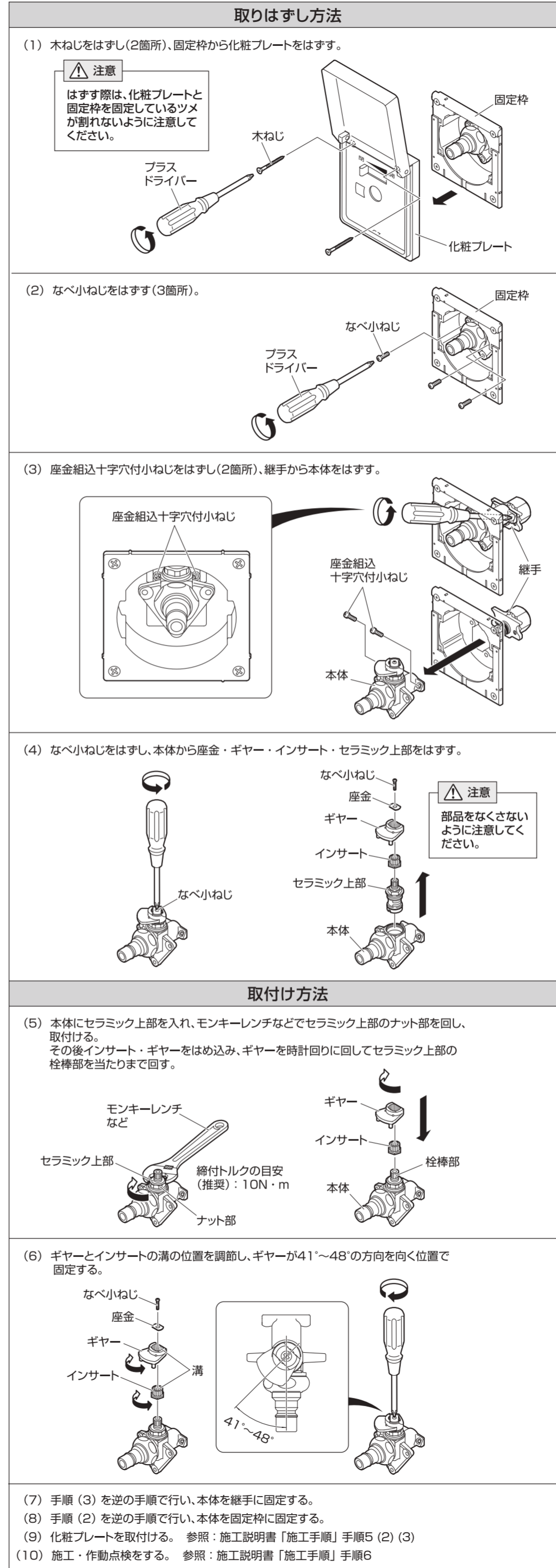
水道メーター(量水器)

こんなときは 本製品の構造



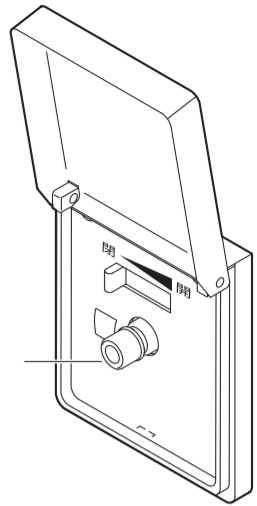
こんなときは セラミック上部の取りはずし・取付け方法

セラミック上部の補除や交換の際は、下記手順に従って作業してください。



こんなときは オプション品について

SAN-EIでは、水まわりを快適にサポートできるようにオプション品や補修パーツをホームセンターなどで取りそろえております。
(品質改良、原材料事情などにより、品番、仕様などの変更、および製造中止を予告なくさせていただく場合があります。あらかじめご了承ください。)



■自動洗濯機給水ホースを延長したい。

自動洗濯機延長ホース
SAN-EI品番：
PT17-2-0.5(長さ0.5M)
PT17-2-1(長さ1M)
PT17-2-2(長さ2M)
PT17-2-3(長さ3M)
PT17-2-4(長さ4M)



アフターサービス

【補修用性能部品の供給期間】

この製品の補修用性能部品(機能維持のために必要な部品であり、使用期間中に取替える可能性が高いもの)の供給期間は製造中止後10年です。

【修理の依頼と部品交換の依頼について】

●修理依頼と部品交換依頼先：お求めの販売店(工事店)又は当社

●連絡していただきたい内容：
■住所、氏名、電話番号
■品番、品名
■お買上げ(据付け引渡し)年月日
■故障内容、異常の状況(水漏れ箇所の説明など)、部品交換の依頼
■訪問希望日

●当社の修理および部品交換料金は「技術料」+「部品代」+「出張料」で構成されています。

「技術料」……診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用。
「部品代」……修理および部品交換に使用した部品代。(無料修理で交換した古い部品・製品は当社の所有になります。)
「出張料」……製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用。

【部品の交換】

●止水部やパッキンが摩耗・劣化すると水漏れの原因となります。この場合、該当部品の交換が必要です。
●安全・快適にお使いいただくために、定期的な逆止弁の点検・交換をお願いします。

【部品のご購入や修理の依頼、ご相談は】

●まずは、お求めの販売店(工事店)へご相談ください。
ご不明な場合は当社カスタマーセンターへお問合せください。

以上の点検を実施されても、不具合がなくならない場合はお手数ですが販売店(工事店)にご依頼ください。